

Information

World Health Summit Regional Meeting Asia, Kyoto 2015 のお知らせ

メインテーマ●Resilience(折れない力)を医療に— 医学アカデミアの社会的責任

2015年4月13日(月)・4月14日(火), World Health Summit(WHS)京都会合を国立京都国際会館(京都市)で開催いたします。

今回の WHS 京都会合 2015 では、日本が世界から注目され、ロールモデルとなりうるテーマとして、「○超高齢社会への挑戦, ○自然災害への対応と準備, ○次世代リーダーシップの育成」を取り上げました。「最も注目される5名の研究者(Nature)」の一人高橋政代氏, エボラやエイズ研究の権威 Peter Piot 氏, 社会疫学の創始者 Ichiro Kawachi 氏などの基調講演, 「医療ビッグ・データ」, 「医療技術評価」, 「ソーシャル・キャピタルと健康長寿」, 「健康なまちをデザインする」, などを準備しております。

パネル・ディスカッション●「近未来の医療を支える プライマリ・ケア」

超高齢社会にいち早く到達した日本が, 健康と医療を支えるためにいかに対応するか, その実践に世界中が注目しています。なかでも今日の臓器別に細分化した医療から, プライマリ・ケア医療への転換は必須の方向と考えられており, WHS 京都会合 2015

でも重要なトピックの一つとして位置づけています。

座長●丸山 泉(日本プライマリ・ケア連合学会理事長), Thomas S. Inui(Indiana University 教授, 福島県立医科大学特命教授)

演者●Leiyu Shi(Johns Hopkins Primary Care Policy センター長), Amanda Howe(University of East Anglia 教授, 次期世界家庭医療学会会長), Lee Kheng Hock(Singapore General Hospital 准教授, シンガポール家庭医療学会), 草場鉄周(日本プライマリ・ケア連合学会副理事長)

会期●2015年4月13日(月)・4月14日(火)

* パネルディスカッションは4月13日午後開催

会場●国立京都国際会館

主催●京都大学

共催●福島県立医科大学

後援●文部科学省, 復興庁, 外務省, 厚生労働省, 経済産業省, 国土交通省, 第29回日本医学会総会 2015 関西, 日本プライマリ・ケア連合学会

事前申込●必要(Web 登録)

参加費用●事前登録: 一般 20,000 円, 研究者 13,000 円, 学生 2,000 円。

取得可能単位●日本プライマリ・ケア連合学会専門医/認定医(予定)

公式 HP●<http://www.worldhealthsummit.org>

問合せ先●E-mail: office@worldhealthsummit.jp